



## 好循環のFC岐阜

2017シーズンは皆様のおかげで、総観客数は、22チーム中、8番目になりました。10位内にはJ1経験チームが8チームでJ1未経験のチームからは岡山と岐阜が入りました。

また、前年度からの伸び率は2番目で、何とこのデフレ経済下で聞いたことのない前年対比123%の伸び率でした。

チーム成績18位ながら、大木監督が率いるFC岐阜のサッカーが大変面白くなって、岐阜の皆様のサッカーへの関心と期待が大きくなっている、スタジアムに足を運んでいただく人が増加したと思います。

今、岐阜には本当の意味でのサッカーへの関心が高まっていると感じています。しかし岐阜には残念ながら、皆さんが誰もが知っている著名なサッカー選手はいませんが、これから大きく育って行く才能ある選手や、若くて才能が詰まった選手は一杯います。

何でもそうですが、育てなければ育ちません。大木監督やコ

ーチ陣やスタッフ達が温かい目で厳しく育てています。

そして、皆様の折に触れての叱咤激励やスタジアムに足を運んで下さる応援が、選手達を育て、チームを強くする活力の元になっています。

大変有難いことに、今、岐阜にはその好循環が始まったと感じています。

親会社を持たないFC岐阜にとって、選手一人ひとりの成長がチームを強化し、また財政的にも余裕をもたらし、より高い能力の選手の獲得に繋がっていきます。

まだ経験の少ない若い選手たちが挑戦する中では、失敗もありますが、若手にはその失敗があってこそ、次の課題発見、挑戦、達成に繋がっていき、才能ある彼らは、それを乗り越える力や爆発力を持っています。

どうかFC岐阜を背負っている選手達の成長とチーム力の進化を応援して頂きたいと願っています。



3月3日に行われたホーム開幕戦のスタメン平均年齢は24歳とJ2で一番若いチームです。

写真：©Kaz Photography/FC Gifu

